



題字：本校書道教諭
坪井 宏(号 工鷹)先生書

第29回 在京芸陽観音同窓会のご案内

記

日 時 平成二十七年十月三日(土曜日)
十一時三十分 受付開始
十二時〜十四時 同窓会(挨拶・事業報告・懇親会)

場 所 六本木ヒルズクラブ (別添地図参照)
〒一〇六-六一五一
東京都港区六本木六丁目十番一号
六本木ヒルズ森タワー五十一階
TEL 〇三(六四〇六)六〇〇一

特 会 費 男性 八千円 女性 七千円

展覧台・森美術館チケット無料配布
展望台及び森美術館共通チケット千八百円相当をご希望の方に差し上げます。但し、数に限りがありますので、希望者多数の場合は抽選とさせていただきます。(当日限り利用可)

出席確認 同封の郵便振替用紙により出席を確定させていただきます。

尚準備の都合上振込期限は九月十一日(金)とさせていただきます。
また振込後九月十八日(金)までに出席取り消しを当番幹事にご連絡頂きましたら会費は返金致します。今回は会費等の郵便振替用紙を広島二中並びに広島観音高校卒業の皆様約一七〇〇名の方々にお送りしています。皆様の周りで本案内が届いていない方、また、区域外にお住まいで出席を希望される方がいらつしやいましたら、下記の当番幹事までご連絡下さい。住所等ご連絡頂きましたら、折り返し案内と振込用紙を送らせて頂きます。

お友達とお誘いあわせの上、奮って在京のメンバー全員ご参加下さい。

* 六本木ヒルズクラブについて
六本木ヒルズクラブは、日本を代表する高級会員制クラブです。会員制クラブであり普段はなかなか利用できない所ですが、特別に手配致しましたので、豪華な雰囲気の中、美味しい料理と、素晴らしい眺望を堪能して頂きたく、皆様の積極的な参加をお待ちしております。

在京芸陽観音同窓会

会 長 松本 正(広島二中二十二回)
TEL 〇四五(五二六)七三二五
E-mail: tadmatsu@c3-net.ne.jp
当番幹事 池田利行、入矢桂史郎、太田信三、岡尾敬一、
宮加谷啓史(全員二十四回生)
代表連絡先 太田信三
TEL 〇八〇(五五四六)七八〇八
E-mail: JZ100101@nifty.com
入矢桂史郎
E-mail: kei.iirya@docomo.ne.jp

地下鉄日比谷線・六本木駅1C出口3分、
大江戸線六本木駅3出口6分



<http://www.roppongihillsclub.com/visitor/dfw/jp/index.html>

同窓会会長挨拶



松本 正 (二中 22 回)

後を継いでくれて・・・

今年はその戦争が終わって七十年という大きな節目です。原爆被災者の会に係わっている私なんかは「被爆七十周年」という方が直接的に感じる。被爆者も高齢化して組織の運営にも滞りが出ているという話はよく聞く、何々県の被爆者の会はどうとう継続を断念して解散したそうなの、とか。これが同窓会だったらどうだろう。私が出た広島市の小学校は幕末明治の寺子屋が発祥で、安芸門徒の手厚い庇護を受けていたが、原爆で保護者の多くを失い、廃校の憂き目に至った。それが約三十年後に同窓の有志が発起、幼稚園を含む全ての期、所縁のある人を校舎後地の会館に集めて同窓会を結成した。それから四十年近く、毎年百人近くの盛会が続いていたが、流石に徐々に減って来た。無理もない一番若い期で七十台後半という超高齢の集いで後輩が

生まれもないのだから減る一方自然の摂理には抗いようもない。代表格も亡くなり、八十路半ばの世話役もとうとう継続を断念、この五月に「サヨナラ総会」を催して終焉させた。これの東京支部を主宰していた私も感慨深い寂しい。翻って我が在京芸陽観音同窓会はどうだろう。昭和六十二年の旗揚げ以来、今年で二十九年目、当初の二中のみだった前記の小学校校みたいに後輩が生まれもないのだから衰退の一途を辿っていただろうが、宿願叶い後身の観音組の手に運営を委ねたことによつて、益々隆盛を迎えている。就中、昨年23期の若者達の手によつて東京中を眼下に睥睨する六本木ヒルズクラブで総会を開くことが出来たのは会として画期的なこと、結成に携わった者として感慨一入です。今年も活きのいい人達が当番を担当して同じ会場で催してくれるそうで頼もしい。しかし、一度このような大きく立派な会場を使うと後を続ける人が大変だろうな、という一抹の心配も無くはない。もう一昨年になるか広島の同窓会本部に出席した際は私の子、いや孫の世代までが大挙して集まってくれている様を目にし、やっぱり後を継いでくれる者がいるのは心強い。

『第28回 在京芸陽観音同窓会』開催報告

第二十八回当番幹事

齋藤 敏文

私は東京広島県人会の会員拡大委員をしており広島市の他の高校の同窓会にも毎年顔を出している。そこで大体共通しているのはどの高校の同窓会を見ても、全ての年代を対象とした同窓会は同級生の参加者が事前に分からないこともあり参加者の確保に苦労しているようである。

在京芸陽観音同窓会も私はここ五年連続して参加して出席しているが毎年のように参加者がじりじりと減り続けていた。そこで昨年は第二十三回生当番幹事一同、同窓会の原点に立ち返り参加して楽しい、来年も来てみたいと思われようにするにはどうすればいいか考えた。その結果、同窓会の会場を六本木ヒルズクラブとし第二十三回生の還暦同窓会を同時に開催することとした。

そして十月十三日(体育の日)に第二十八回在京芸陽観音同窓会が六本木ヒルズクラブで開催された。六本木ヒルズクラブはITバブル時代ヒルズ族が集い何かとニュースにもなった、普段は会員同伴でないとい入れない場所である。



更に希望者には森美術館と展望台券(1500円相当)無料で配布した。(展望台美術館に行った方から後日展望台美術館にも行って本当に良かったとのメールを頂いた。)

当日はプロの司会(三谷啓子現理事でもちろん観音の同窓生)にお願いし十二時に開会。松本会長の開会挨拶では立派な会場で沢山の参加者を迎え喜ばしいとの挨拶を頂き、瀧山副会長の事業報告、榎野副会長の乾杯挨拶と続いた。参加者総数は80名弱で

当番幹事の第二十三回生は28名が参加し賑やかな同窓会の一助となった。120名でもゆったりと着席可能な広い会場で沢山の黒服のフル給仕であったこともあり(食材はコストの限界もあるのだが)、あるものは冷たい状態であるものは暖かい状態ですみやかに提供されたこともあり雰囲気も良く美味しかったというありがたいお言葉を何名もの参加者の方から頂いた。

食事の時間は着席で移動がなく静かな時間帯であったので、ここで母校の創立九十周年記念のビデオを継承ポプラの絆 九十年の時代を超えてを視聴した。皆さん母校の歴史を初めて体系的に知るいい機会となったと思う。

食事も終わったあたりではテーブルのあちこちで人だかりができて賑やかな歓談となった。特に会場が広かったので各テーブルに取って空席を二席確保しておいたことが席を移動し易くし賑やかな歓談につながった。

今回は参加者の若返りを図るために若手の現理事に極力同期生を誘ってきてほしいと個別にお願いしておいたのだが、実際に例年になく若い参加者が多く雰囲気も明るくなった。

校歌斉唱は従来にない演出として母校の映像とバックコーラスが入ったビデオを流しておこなった。最後に松本直和理事によりエール交換を行い母校の発展と来年の再会を誓い記念写真を撮ってお開きとなった。

最後に今年の同窓会も昨年同様六本木ヒルズクラブでの開催が決定している。第24回生の当番幹事も還暦同期会を同時開催としており同窓会が盛り上がるよう頑張っている。昨年以上に賑やかな同窓会になればと密かに期待している。

**被爆建物を
知っていますか**

副会長 榎野 弘二
(広島観音6回)

広島には70年前の原爆投下による熱線や熱風に耐え、今も残る「被爆建物」が保存されておられ、広島市に登録されている「被爆建物」は爆心地から5キロ圏内に86カ所あるという。世界遺産である有名な原爆ドームは別として、それ以外にどのような「被爆建物」が現存しているのだろうか？

5月9日、亡兄一周忌法要のため帰広した際に、「被爆建物」を確認しようと「被爆建物」のうち、広島市の中心

地である中区の福屋百貨店、広島アンデルセン(帝国銀行広島支店)、袋町小学校平和資料館(袋町国民学校)、旧日本銀行広島支店(日本銀行広島支店)、市役所旧庁舎資料展示室(市役所)、平和記念公園レストハウス(燃料会館)、そして本川小学校平和資料館(本川国民学校)の7カ所を訪れたが、それらのうち、4カ所について纏めてみた。カッコ内は被爆時の名称である。

広島アンデルセン

本通りアーケードにあるパンと洋菓子店とレストランの複合店舗。1925年(大正14年)、三井銀行(現三井住友銀行)広島支店として、ルネサンス様式を模したモダンな建物が建設され、その後、帝国銀行広島支店に改称。爆心地から約360mに位置し、爆風により屋根が落ち、内部



広島アンデルセン



旧日本銀行広島支店



平和記念公園レストハウス



本川小学校平和資料館

や外壁も大破した。1967年(昭和42年)、タカギベーカーリーが建物を買い取り、広島アンデルセンとしてオープンした。本通りの洒落た店舗は人気があり、訪れた時には多くの人で賑わっていた。

旧日本銀行広島支店

袋町の一面に位置し、1936年(昭和11年)に建てられたこの建物は、被爆の被害からも耐えて現存している。爆心地から約380mの近さにありながら、非常に堅固な造りであったため現在も建築当初の姿を残している。1992年(平成4年)、広島支店が基町に移転し、2000年(平成12年)、広島市指定重要文化財に指定。1階には「預金・為替」、「国債・貸出」などの窓口表示が残っており、2階には展示場も開放されている。

平和記念公園レストハウス
元安橋西側近くに平和記念公園レストハウスがある。1929年(昭和4年)に建てられた大正屋呉服店は、木造家屋が主流の当時としては珍しい鉄筋コンクリートのモダンな建物だったが、爆心地から約170mに位置し、被爆により屋根は押し潰され、内部も破損し、地下室を除いて全焼した。戦後は補修され、燃料関係組合の燃料会館となり、1982年(昭和57年)からは平和記念公園レストハウスとして使用され、地下室は当時の姿をとどめている。訪れた日も多くの観光客が入りしていた。

本川小学校平和資料館

相生橋西側を渡り、左折すると本川小学校。1928年(昭和3年)に建築された広島市内では最初の鉄筋コンクリート3階建て校舎だったが、

***同期会だより**

爆心地から約410mに位置し、校舎は全焼、壊滅した。1988年(昭和63年)、被爆校舎の一部と地下室は、本川小学校平和資料館として開館した。資料館入口付近には赤いバラが咲き乱れていた。なお、中沢啓治さんが描いた「はだしのゲン」に登場するのは、この小学校である。

なお、今後、広島市は「被爆建物」の保存に向けた取り組みを強化し、市が所有する建物は「原則保存」、民間所有は保存費用の補助額を引き上げるといふ。とはいえ、老朽化と費用の問題で取り壊されるケースがあり、原爆の惨禍と「核の非人道性」を後世に伝える「被爆建物」の役割を重視した対応が注目される。

(撮影 榎野弘二)

二中22期東京支部

松本 正(二中22回)

人間己の死期を悟って友との別れを準備するものだろうか？運命論者でもない私がある話を持ち出すのは自分でも妙だが、我々東京二中(二中22期)にいよいよ会東京支部の集まりのことである。昨年六本木ヒルズクラブにおける

総会で二中組のテーブルの様子を覚えてらっしゃる人は稀有だろうが、あの卓、二中組5人予定のところ2人が無断欠席というザマとなった。その欠席の一人が山梨県甲府(厳密には甲斐市)在住の歯科医師・山田康彦君、四十年近くに及ぶ我々在京同期会の立派な常連である。現地では結構な地方名士だ。富士山が世界文化遺産となったことだし富士の見える場所である今年、東京二二会を一泊でやるうじやないかと云い出した。彼の自宅からも富士は立派に見えるが、甲府の近くのフルーツパーク富士屋という高級なホテルで話はまとまった。一泊での開催は昔伊東温泉で催したことがあるが、みんな高齢化し外泊となると尚更ムリだと言う者が多い。予想通り10月12日の集まりには当日急な病欠も出たりして山田夫妻を入れて6人に留まった。それでも個室で仏料理のフルコースを賞味し、彼の好きな♪「蘇州夜曲」など懐メロを口ずさんだりして首謀者(?)本人も大いに楽しそうだった。それからほんの2か月ほどの師走の十八日、その山田君が急逝した知らせを受け取ったのだ。ショックだった。告別式での弔辞で私は「お前、みんなに別れを告げたいために集まろうと言ったのか?」と



問いかけた。同期会の別れを前にホテル正面ロビーで納まった写真をご紹介します。左端の背の高いのが山田君。自然の摂理には抗えず多くの友を見送って、この在京同期会も今や会の態をなさなくなってきた。我々自身の手でその運命を決める時機が来るのかも知れない。了

大阪ネギの会

山木和雄 (広島観音3回)

娘のパソコンが威力を發揮し、京都桂離宮への見学キッブ四枚が揃った。大阪ネギの会員―美女3名は二つ返事で参加を表明し、急遽、邂逅の運びとなった。三月十四日、絶好の小春日和となった京の空は、あたかも我々の集いを祝福する様に思えた。中学の宿題で杉苔採集を命じられ己斐川の上流迄足を延ばしたが、

無為に終わった苦い記憶がある。桂離宮にはこの貴重な杉が路上一面に敷きつめられこれを保護する白の飛石が遠々と続く。雨に洗われる桂の道も、さぞかし美しい輝きを放つことだろう。總面積二万坪の庭に入り組む池をめぐり、大小五つの中島、土橋、板橋、石橋を渡り四つの建物(月波楼、松琴亭、賞花亭、笑意軒)を愛でる。この回遊式庭園は四百年の変わらぬ歴史と日本文化の粋を我々に投げかける。まさに日本に生まれ育った幸せが身に染み込んだ一日であった。



*参加者名

山木 和雄、後藤 淑子
加藤 紀子、西尾 敏子

喜寿の会報告

あれ!もう喜寿

瀧山 昇 (広島観音9回)

この会報にも以前から先輩方の喜寿のお祝いの報告がよく載っていました。観音9回卒が還暦を迎えたということと、同期が5月30日(土)に広島グランドインテリジェントホテルに集まりました。学年で4クラス約200名でしたが、出席者は男性28名、女性17名、合計45名でした。

我が9回卒は九州の小倉、四国の松山、関西の京都、大阪と在京の6名が参加しました。

「あれ!もう」と感じたのは、先輩達のお祝いの記事を読むたびにまだ先のことと思っていたのと、還暦を過ぎたらお祝いの事は「数え歳」です。祝うので、実年齢より1年早かったです。我々が9回卒は今年の正月で数え歳で77歳になっていたので。

観音9回生の同期会は宮島での還暦の会が手始めでした。そのときは、次は古希だよと幹事さんにお願ひし、2008年に開催されました。このときも次は喜寿だなど話がありました。皆、余り本気ではなかったように記憶しています。随分先のこと、それまで元気がいられるかな?という思いがあったようでした。しか



し、年月の経つのは早いものでとうとう喜寿の会が開かれました。

12時全員集合の写真撮影に始まり、藤田会長(村田組)の開会の挨拶、観音同窓会本部の常任監事でもある同期会幹事長の広兼君(落合組)の同窓会本部と母校の近況の報告があり、乾杯の後歓談に移った。

始めのうちはテーブルを囲んだ中でのお話で始まるけれど、そのうち席を外れ入れ替

広島カープ応援
夏季同期会開催

松本直和 (広島観音20回)

わり、酒を酌み交わし、あちらこちらで笑い声が上がるといういつもの雰囲気になりました。我々の年代では、教室では席が男女で左右に分かれ、在学中は男女で会話をする機会が殆ど無かったけど、今となってはそんなこと関係なく懐かしい会話が交わされていきました。安佐地区の土砂災害、広島カープの不振といった近い話から、大病から回復した話、昔懐かしい思い出話となると遠慮のない口調の冗談も出たり、際限なく続きました。2時間半という時間では話をしない友が沢山いるが、瞬間に過ぎ最後に皆で校歌を合唱し、次は傘寿で合おうと挨拶を交わし散会しました。まだ名残惜しく半数ほどがホテルのティールームで余韻を楽しんでいました。

平成26年9月、先週末までの猛暑が過ぎ去り夏が背中を向ける時に、広島カープのAクラス確定とあわよくばリーグ優勝を祈って、観音20回同期9名が神田に集まりました。店は「Big Pig 神田カープ本店」。名前の通りカープ一色の店で、広島風お好み焼きもありました。会が始まると同時に、松山のタイムリーで1点先取。会は大いに盛り上がりると同時に、最少リードに逆転の不安も。夫婦でフアンの住川氏、熱い思いを多弁に語りウーロンハイのお変わりもヒートアップ。会は2時間の時間制限の為に試合途中で退店となり、二次会居酒屋でスマホ観戦。大瀬良投手が見事完封。気持ちよく解散となりました。3週間前の広島市の土砂災害も、参加メンバーの親族に影響は無かったものの、被害に合われた方への一日でも早い復帰をお祈りいたします。



*参加者・・・富岡、升田、高橋、松本、小豆原、住川、綿平、来栖、田中

第23回生の在京
還暦同窓会に思う

齋藤敏文 (広島観音23回)

昨年(2021年)の二月十五日広島のホテルグランヴィアで第二十三回生の還暦同期会が開催された。ただ、関東在住の同窓生の中には広島に帰って参加できない方も多かったと思う。

そんな折、昨年十月十三日(月) 関東地区の第二十三回生の還暦同期会がすべての学年を対象とした在京芸陽観音同窓会に相乗りする形で開催された。開催場所はヒルズ族が集い何かとニュースにもなったあの六本木ヒルズクラブである。

各クラスの担当幹事が在京の同窓生に積極的に声掛けしてくれたお蔭もあり、在京のメンバー全員参加というクラスもいくつもあって、高校時代の仲間会いたいというみんなの熱意を感じた。

集まった同期をよく見ると高校時代の面影をそのまま残して歳を重ねた顔、すっかり変わってしまった誰だったかわからなくなった顔、体型もすっかりかわり幅もよくなった顔等々。でもまあ白髪や顔の皺も増えてみんな仲良く歳をとった。これも月日の流れ、みんな四十数年ぶりの時間をそれぞれこの短い再開の時間で埋めるべくワイワイガヤガヤと話はずきない。

みんな着席での食事もそこにテーブルを移動して渡り歩き懐かしい顔をさがす。やっぱり同期はいいねえ。

同じ学び舎で過ごしたあの日から各々それぞれの道を歩んできて全員が還暦というもう人生の終盤にさしかかったこの歳になると昔の友達に会うとどうしても残りの人生をどう生きるかという若い人から見るととても年よりくさい話になる。だからこそまた若かった昔に還り同窓生とワイワイガヤガヤする日々を今後の生活に少しくわえるのもいいかもしれないと思う。

そうだ！今年も集まろう。青春をともしに過ごした仲間とはとてもいいもんだから昨年の集まりだけで終わらせるのももったいない。ふとそう思う今日この頃である。



おたより

山木和雄 (広島観音3回)

I. 広島3Bについて

緑に赤は良く映える。五月のカープはこの色に目覚め、例年、快進撃が始まる。例年はトラキチの私(カープ誕生前から)は娘と共に女房軍団(カープフアンの息子参加)と敵対する。が、今年は別だ。大金を擲って広島に馳せ参じた黒田投手の心意気に感銘を受けた故、是非共カープ優勝をと願う気持ちで一杯だ。テレビに映し出される「カープ女子」は美しい。色、鮮やかな艶姿と黄色い声援は全国ファンを魅了して止まない。昔から広島に多いとされるものに三つのBがあると聞いて来た。一つは太田川にかかる橋(Bridge)のB、次に道路を塞ぐ各社の空バス(Bus)最後が女性の蔑視となるブス(Bust)！？今や三つ目のBは全くの死語で、むしろ男の方に置き換えるべきかも知れない。広島男性は概して温厚、善良、口べたとされるが、時としてとんでもない不遜の輩が出現する。ベイトーベン(ベイトーベン)の名を騙り盗作で名を残した佐村河内守。契約金の多寡を天秤にカープから巨人に鞍替

不倫で全国に名を馳せた。私の身边にも男の約束を破り七十五の定年を超えてなおその地位に汲々と未練を残す輩が存在する。これらには、OB(大馬鹿者)の称号を与えたい。

II. 黄金の鳩

私が黄金の鳩に魅せられ、給餌を始めてから約一年になる。その出会いはウラ寒い師走の日暮時、歩道の片隅を歩む凜としたその姿に目を奪われたのが始まりであった。撒き餌を始めてから一週間、鳩はすっかり私の姿、形を覚えたらしく、百米先の川のたもとから私の元へ集まる様になった。私の服装はその都度く、一定せず、体臭も届かぬ先から私を見分け、集まるのが不思議であった。後、判明した事だが鳩は視力がすばらしく、三百米先でも見通すらしい。就中、他の鳥に先駆けて私に近づくのが「茶さん」(黄金の鳩の愛称)であった。「茶さん」は身体能力に秀れ、素早い反応で撒き餌にも対処する。餌に近寄るのは一番でも生来の慌てん坊、そ、かしさが悪いし二つの餌に目を奪われる為、仲間に後れを取るといった珍現象を繰り返す。鳩の世界のイジメは人間同様、否それ以上で絶えず餌取りを

邪魔するボス、撒き餌に近寄れず十米先から一群の様子を伺う仲間ハズレの鳩がたえず散見された。

一年を経た今、鳩は当初の数倍―約四十羽が終日に亘り待機する様になった。私の愛する「茶さん」も最大四羽も出現する始末、私にはもはや初恋の「茶さん」の見分けがつかなくなった。鳩の公害を理由に私の行動を批判していた悪妻も、私の意志の強さとおくなき鳩への情熱に匙を投げたのか、或いは鳩の可愛さに目覚めたのか(おそらく後者と確信するが)今は笑顔で出迎える毎日となった。私は今、この日々楽しかった鳥達との交遊も終わりにしたいと考えている。人間と同様に、聡明な鳩たちにも自立した食生活の確立、自覚が必要と思われるからである。以上

高橋優子(広島観音23回)

ネパール旅行

友人に誘われ迷うことなく参加したネパール旅行。山歩きの好きな私にとって、ネパールに雪を頂いたヒマラヤを見ながらのトレッキング。でも実はとても不思議な体験の旅でした。

メンバー6名に対し、日本語ペラペラの超一流現地ガイ

ド、何でも出てくるドラえもん、のポケットを持つ旅行催行会社女性社長、そしてチベット仏教僧院で10年近く修行をつまれたSさんと、3人ものアテンドのある、至れり尽くせりの豪華さ。私の勝手な目論見とは違い、主目的はチベット仏教勉強の旅なのでした。仏陀生誕の地「ルンピニ」、「ボカラ」を経てさらに山奥の「アスタムコットのほなはいえ」と続く移動の車中でのお釈迦様についての話は、とても面白く分かりやすくデコボコ道も苦になりません。



カトマンズで訪ねたチベット仏教の聖地、巨大なストウパ(仏塔)のあるボダナートで静かに祈るチベット僧の姿。パシパティナートの川沿いのガート(火葬場)。全てが初めての光景。最後に訪れたナムブツダでは、願い事をかいた5色の旗(タルチョ)を小さな男の子達が掲げてくれました。その寺院で奇跡のような偶然により、リンポチェ(高僧)に白いスカーフを一人一人首にかけていただきました。そこで修行している何百人という修行僧をさしおいて!です。Sさんによれば、これは凄いいこと。これにより私達は「守られる」ということでした。その後日本に戻り、階段を踏み外して首を痛め頭痛に悩まされ、スキーで転んで歩くのも辛い状態が一月近く続きました。ある人は「ご加護がないじゃない」と言い、ある人は「ご加護のおかげで、それくらいは怪我ですんだのよね」と言います。どう考えられますか? 東京でお会いした別のリンポチェは「だいじようぶ!とマントラを唱えなさい!」と説いてくれました。要は気持ちの持ちようだと。確かにリンポチェもSさんも「アッハッハ」と豪快に笑います。だからといって、私がチベット仏教徒になったわけではありません。まだまだ知らない興味深い世界がいろいろあるんだなあ!と思える、この頃です。



在京芸陽観音同窓会 会則および役員体制 変更のご案内

在京芸陽観音同窓会会長
松本 正(一中22回)

14年10月に開催した在京芸陽観音同窓会総会に於きまして、会則および役員体制の変更につき、ご報告を頂きまして、ご承認を頂きました。ただ、同窓会にご参加いただけなかった会員の皆様にも本会報にてご報告いたします。変更の主旨は、本会役員会が過去数年にわたり人事の刷新が無いと目撃者が著しいことおよび会員増加等同窓会発展のための活動を積極的に行えるよう役員若返りを図り役員任期規定変更を図りました。また、会費については従来、入会金と会費を頂いておりましたが、今年より在京芸陽観音同窓会会報発行支援費として納めて頂くようにしました。このため本会会則の第9条、第13条を改訂しました。新会則を次頁に掲載しますので、ご確認の程よろしくお願いたします。また第9条改定に伴い役員体制(次頁)を強化し、旧来からの役員(※のついた方)は原則今年10月の同窓会総会にてご承認を頂き翌年三月末にて退任いたします。会則改訂版を次頁に掲載します。以上

在京芸陽観音同窓会会則(案)

- 第1条 本会是在京芸陽観音同窓会と称する。
- 第2条 本会は芸陽観音同窓会規約に基づき芸陽観音同窓会の東京支部とする。
- 第3条 本会は芸陽観音同窓会の会員として、主として関東地区在住者でもって構成する。
- 第4条 母校の現職員及び旧職員は客員とする。
- 第5条 本会は会員相互の親睦福祉をはかり、本部と連携を保ちながら、会の発展向上に寄与することを目的とする。
- 第6条 本会はその目的を達成する為、次の活動を行う。
(1) 会員相互の親睦福祉の増進
(2) 会誌の発行等
(3) その他、会の目的必要な事業
- 第7条 本会はその目的達成の為、次の役員及び幹事を置く。
(1) 会長 1名 役員会で推挙し、総会で承認する。
(2) 副会長 若干名 同上
(3) 理事 若干名 同上
(4) 幹事 卒業各期毎に1ないし2名を原則として会長が委嘱する。
(5) 監事 特に定めず。前期当番幹事がその任に当たる。
- 第8条 役員及び幹事の任務は次の通りとする。
(1) 会長は本会を代表し、会務を統轄する。
(2) 副会長は会長を補佐し会長に事故ある時は、その職務を代行する。
(3) 理事は本会の運営に関する諸般の協議を行い、会計・広報・庶務等各種事業の企画推進にあたる。
(4) 幹事は各期を代表し必要事項を各々の会員に連絡し徹底をはかる。
(5) 監事は担当する期の会計監査を行う。

- 第9条 役員の任期は2か年とし再任は妨げないが2期4年を限度とする。但し、役員会の推挙がある場合はこの限りではない。途中交代役員の任期は残存期間とする。
- 第10条 総会は毎年1回これを開き、
(1) 会員相互の親睦
(2) 会務・会計の報告
(3) 規約の変更
(4) その他、必要事項の決議等を行う。
但し、会長が必要と認める時は臨時に会を招集することができる。
- 第11条 役員会は必要に応じこれを開き、本会運営に関する協議並びに事業の推進にあたる。役員会の他に、会長が必要と認めるときは、幹事を加えた拡大委員会を招集することができる。
- 第12条 会員は氏名変更、住所移転、身上の異動等ある場合には、本会に報告し相互の親睦増進に資するものとする。
- 第13条 本会運営に関する経費は次のものを以てあてる。
(1) 会報発行支援費
(2) 臨時収入(定例の集いの剰余金)及び雑収入(利子その他)
- 第14条 本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月末日に終わる。
- 第15条 本会の運営を円滑に進める為事務局を置き、本部を事務局担当理事宅に置く。
- 第16条 この会則は2014年10月13日から施行する。
- 附 記 2011年 10月 15日 改訂
2014年 10月 13日 改訂

現役員体制	会長 *松本 正 (広島一中22回)	副会長 *榎野 弘二 (広島観音6回)	副会長 *瀧山 昇 (広島観音9回)	理事 *古田 正雄 (広島観音14回)
理事	佐々木孝治 (広島観音35回)	三谷 啓子 (広島観音31回)	片田 元己 (広島観音16回)	齋藤 敏文 (広島観音23回)
理事				*松本 直和 (広島観音20回)

芸陽・観音高校の校地にあつた。高校が現校地に移転して3年しかたつていなかったのに、正門の扉だつたか横の方に小学校なのの中のマークがあり、使用できないプールや壊れて外壁だけのコンクリートの建物(講堂跡)があつたりしたのを不思議に思つていた。広大理学部化学科に入学後大学院に進み、1975年2月東京都立大学理学部化学科の助手に採用され、寝台特急「あさかぜ」で上京してから40年が経つた。その間、大学は八王子に移転し大学名も



片田 元己 (広島観音16回)

新理事挨拶

新任理事の片田(観音16回)です。どうぞよろしくお願ひいたします。

観音高校入学は1962年で、丁度40周年記念行事や同窓会館の竣工などがあり、また、保健体育の寺本先生(二中22回)から同窓会についてよく聞かされていたので、同窓会は比較的身近にあつた。通つた小学校は、元二中、

「首都大学東京」と変わった5年前に定年退職、晴耕雨読を夢見ていたが、いまだに実現できないでいる。

在京同窓会との関わりは、2009年10月に来年度の当番幹事であるとの連絡を受け、沖野君、今田さん、高木さんの4人で担当したときからである。在京同窓会には参加したことはなく不安であつたが、榎野さんや事務局の瀧山さんのお蔭で無事に終了することができた。以後、できるだけ同窓会には参加しようと申し合わせ同期にも声をかけてきたが、なかなか同期の参加者が増えない。40人くらいはいるようである。

昨年当番幹事をされた学年は、私が1971年に非常勤講師として初めて化学を担当した学年で、その頃はまだ縄井先生もお元気だつた。その後72、74年度と担当したが、最後の年度は就職のため1月末で辞めることになり、生徒から寄せ書きをしたヘルメットをもらった。何度も引越したけれど、今でも本棚の上に置かれている。

人との出会いは予期せぬことが多く、それが面白い。同窓会での出会いもそうで、今年、どんな方たちとお会いできるのか楽しみである。



三谷 啓子 (広島観音31回)

2014年9月、在京芸陽観音高校同窓会理事会から「理事に就任してくれないか?」との連絡をいただき、「私のような者でもお役に立つのなら、やらせていただきます。」と快諾しました。

不思議なことにあの日以来止まっていた時計のネジが捲かれて時を刻み始めたような、または磁力を失つていた磁石に磁気が甦つたともいうような、観音高校を廻る出会いが次から次へと動き始めたのです。

卒業から36年、人生様々なことがありました。進学・就職・結婚・子育て・仕事・肉親との別れなど、もちろん誰でも経験することではあります。私もそれなりに約半世紀の人生経験を積み重ねてきたように思います。

この度、同窓会理事の方々仲間入りをさせてください。改めて感じることは、皆さん素敵に年齢を重ねていらつしやるということ。生き生きハツラツとお元気で、(若い若い)私の方がパワーをもっています。

更に、観音高校卒業生は皆

さん優秀で、素晴らしい方々が本場に多いということを感じました。(私は落ちこぼれだったので、自分のレベルに合わせて評価してしまっていました。反省します・・・ごめんなさい。)

観音高校卒業生として出来の悪い私ではありますが、現在アナウンサーとして仕事をしています。ラジオパーソナリティー、話し方講座の講師や様々な司会など日々の仕事の中でいつも、「自分の身体には広島が流れている」ということを誇りにマイクに向かっています。昨年の在京同窓会総会から、司会をさせていただけることも嬉しく思っています。

奇しくも今年は11月に広島で開催される「芸陽観音同窓会総会」の幹事に当たります。世話人は生涯一度しか回ってこないということなので、36年振りの友人との再会が今から待ち遠しくワクワクしています。

佐々木 孝治(広島観音35回)

この度、在京芸陽観音同窓会理事に就任した観音35回の佐々木孝治でございます。

就任に当り「地方都市と県立高校」と言う観点から一言申し述べる事で御挨拶とさせていただきます。広島は第一国土



「パリエアショー」日本ブースにて
左からMRJ、787主翼、H-IIロケット

軸に位置する広域都市と言われる一方で、中央・東京から視ると、同じ行政レベルの仙台や福岡、或いは同じ大名城下町である熊本や鹿児島等との比較において気付く事があります。風格ある都市には県立ナンバースクールを前身とする地元支持を受けた伝統校が必ず立地しており、前述都市で例を挙げれば仙台二・仙台一、修猷館・福岡、濟々豊・熊本、鶴丸・甲南が存在し互いに切磋琢磨しております。ところが広島は如何でしょうか。地方国立大学は所詮中央集権下の一県一大学(特に教育・医学)制に他ならず、高裁・地方局・電力会社本店等と所在を一にする旧帝大(広域七都市として本来広島に在っても良いが近畿のダブリ

で弾かれた計算)も政府の下部機関(税金で賄われる限り独立自治は論理的に有り得ない)であって、「Independent thought」に基づき神学部を核に発展してきた西欧の「University」とは本質的に全く次元の異なるものです。

そうです。地方の社会文化や政治経済を支え且つ人材供給源になるべきは本来、県民による県民の為の地元県立高校であり、広島であれば取分け県庁所在地の県立有力五校(観音・国泰寺・皆美・広商・県工)が、本当は地元文化や産業をリードすべきだったのではないのでしょうか。確かに平和公園の緑は手入れが行き届き、フラワーフェスティバルにも毎年多くの方がくり出しますが、それだけで街は決して元気にはなりません。

そんな観点から(地元の県立である)母校観音高校を応援したいと考えており、先ず出来る事として今回の理事就任を快諾致しております。今すぐ遣れる事は少ないとしても、タイミングを計り時機至れり場合には、今回の理事経験等も踏まえつつ、何らかの形で母校に貢献出来ればと考えております。

最後に一つエピソードを紹介したいと思います。それは観音高校の校章です。ドイツのお客様がこの校章を偶然目

にされた時、「意味を持ったとてもクリエイティブで無駄のない先進的なデザイン」と評価された事があります。私は嘗て欧州タイムラー社トップの記者会見に同席した経験があり、ドイツ人記者から日本企業(ここでは三菱)との提携理由を問われた際の回答と重なりました。確か回答の中心は「こんなクリエイティブなデザインが社章になってる会社だよ、素晴らしいに決まっているじゃないか」と一言であったと記憶しております。たったそれだけの応答に対して、世界中で最も論理的である筈のドイツ人記者達も普通に通じていた姿がとても印象的でした。皆さんも一度このポプラの校章を覗いてください、どうでしょうか。以上

芸陽観音ゴルフ会

2014年

芸陽観音ゴルフ会報告

今本 智行(広島観音14回)

①第53回大宮ゴルフコース
名匠とも呼ばれた故・浅見緑蔵氏の設計によるコースで、昭和34年開場のセミパブリックコース。フラットなフェアウェイと、巧みに配置された赤松や杉の大木とクロスバンカーにセパレートされた本格

第53回及び54回目として以下の場所、結果を報告致します。(いずれも新ペリア方式)

回	年月日	コース	優勝	2位	3位	ベストグロス
53	14. 5. 8	大宮ゴルフコース	山木和雄(3回)	土居将憲(13回)	石丸恵照(中22)	石丸恵照
54	14. 10. 23	泉カントリー倶楽部	森山康三(20回)	田中義一(20回)	三宅 洋(18回)	森山康三

派林間コースです。当日は爽やかな5月らしい快晴日、後半は少し風が出たものの、文句のつけようがないコンディションでした。

どうせするならば未経験・且つ名門で!との謳い文句通りの選択だったと報告いたします。

もつとも当ゴルフコースを強く推奨された山木先輩の思惑に嵌った結果でした。新ペリア方式での競技でしたので運の付きもありましたが、TOP204 Net36と納得いく成績での優勝でした。特記すべきは最高年齢者である石丸先輩が Best Gross の栄光と3位入賞で

②第54回泉カントリー倶楽部
小生を初め比較年少者が大いに恥且つ奮起させられる結果でした。

知る人ぞ知る『住友系の名門』コース。秋も深くなり紅葉が目立つ綺麗な倶楽部です。当日は生憎小雨混じりの曇り日でした、寒さが感じられなかつただけラッキーでした。

少し天候不純の影響か先回優勝者は風邪で欠席、ベスグロの最年長者石丸先輩も肩痛のため急遽欠席。そんな訳で優勝森山康三氏（B.Gも）2位田中義一氏、3位三宅洋氏と順当な結果になりました。
53・54回とも出席された紅一点であられる掛水道子さんの奮戦を末筆ではありますが付記させて頂きます。引き続きのご健闘を！

優勝挨拶（第53回）

山木 和雄（広島観音3回）

5年ぶりの優勝は正直云って嬉しいの一言。
年齢、80の坂を超えてから、飛距離は半減、パオンは愚か、ボギーベースもまゝならぬ状態での栄冠は、感激一入である。

私自身、大宮CCでのプレイは3度目、過去70台もあり、100近くもありといった不思議なコースとといった印象が強かった。唯、比較的距離のない老人向きのコースであるという思いが、当日の勝利を誘発したのかも知れない。

当日は朝から快晴、上空には風があり固い砲台グリーンは、若い強打者連を悩ませた様で終わってみれば89のベスグロを記録された最長老、石丸氏に次ぐスコアとなった。又、今年度から採用の新ペリ

ア方式も、非力な老人の強い味方となった。アウトホール8番ショートホールでの2mバーデイが私の優勝スコアに大いに貢献したらしい。

今年の7月、柄になく大病を思い、例年の三分の程度ゴルフであったが、不思議と勝運に恵まれ、コンペ優勝2回、準優勝2回と賞率（？）8割を超える結果となった。これぞ、今後もゴルフを続けろとの神からのご啓示とありがたく拝受することゝいたしたい。

最後に一言。当コンペは二中の諸先輩の大会を引き継いで15年以上、50回を超える一大イベントで、私の知る限り、広島の本部はもとより、他校には例を見ない親睦の場となっている。又とない癒しの場は、若い諸兄に活力を与えてくれるものと確信し、是非とも参加されんことを切望する。以上

優勝挨拶（第54回）

森山康三（広島観音20回）

二年振りに参加で自身4度目の優勝となりました。今までのハンデ戦から、新ペリアに変わってハンディホールに恵まれた優勝でした。

私は今年64歳。ある本で読んだエージシューターの言葉

に「ゴルフは64歳まで上達するスポーツ」と書いてあり、その言葉を信じて今年は何回かプレー回数を増やし、ホームを改造して取り組んでいます。諸先輩の元気なプレーを見る度にこのゴルフ会に出た後はいつもストレッチや筋トレをしようと思っっています。80歳まではプレーを続けたいものです。生年月日で見ると私が最年少なので、是非若いライバルの出現を心待ちにしています。

ゴルフリレー交友録

今本 智行（広島観音14回）

私のゴルフ暦は26歳の夏から、初めてのコースは大阪枚方にある河川・樟葉カントリーだったと記憶している。暑くて汗だく状態だったが、何故か『ヤルゾー！』と将来のゴルフ上達を期して叫んだものでした。…、あれから45年…、満足できない技術の拙さは可能性を秘めたまま今でも辛抱強く続いています。

さて、今回は、小生1987年〜1990年の短かった米国（ロスアンジェルズ）勤務中の（遊びも仕事の内と考えた）ゴルフ三昧生活とあの！「ペブルビーチ」での思い出を、懐かしく思いながら述べてみようと思います。

子供の学校進学とぶつかり微妙な時期だったため残念ながら『単身赴任』の不自由な生活が始まりました。土曜日や日曜日は暇をたまにし自然と嫌いでないゴルフに励むことになりました。住まいはレドンドビーチ（ロス市街地から南へ車で30〜40分の海岸）に面するアパートメント。窓を開けると太平洋の押し寄せる波音が結構うるさい環境。土日ともなれば家族ずれやアベック達の屯するリゾートエリアでした。いつも行く（パレスベデロス）コースは車で約15分。プレイしたいと思いつつと15分ドライブし、受付窓口で常置しているノートに自分の名前を書き込むだけでOK。受付のおじさんに

行った寿司屋は彼らに好評だったが、出費もかさんだものだった。

「When can I play golf?」と聞けば「Around 9:00」との答えを聞きながら再度15分ドライブで帰宅。ゆつくり朝食をとり8:30頃コースに行き練習パットしながらアナウンスに耳を傾ける。その内「Mr. Imamoto, Ready to start」と聞けばそのままスタートホールへ直行。そこで初めて今日一緒に廻る白人3人と挨拶、あとはプレイに集中する。彼らと雑談し仲良くなり、気が合えば夕飯・食事誘うこともあった。良く

勿論、同じロス仲間と語って行くコースも多かった。費用ですが（先ほどのパレスベデロスも同じ）終日プレイ費が\$60、カート借代\$100（2人でシェアして\$50）合計\$110がゴルフ代金。ハーフ上がりで殆どスループレイですが、屋台立ち食いホットドック\$1.00が何時も昼食パターンでした。日本円100円/\$1で一日\$200円と恵まれた出費です。大概設備はお粗末です、ロッカーは有るけど車のところで着替えして置いておく、風呂はなし、シャワーは有るけど使ったことはありませんでした。湿度が低くカッと暑い直ぐ汗が引くためジトジトしないので風呂が恋しくならないのでしようか。今思うと夢のようなひと時でした。今でも変わらないのかなと思うとアメリカ人が羨ましい限りです。

さて、次に「ペブルビーチ」の思い出です…、『おっと』字数の限界が来たようなので次の機会にこの思い出記はとっておきます。ゴルフ人生、万歳！
次回は、広島観音18回久保田さんをお願いします。


在京芸陽観音同窓会 2013年度決算報告書(単位:円)

2014年3月31日

前年度繰越	485,619	
収入の部		
総会会費	294,000	49名
初年度維持会会費	10,000	10口
年維持会費	198,000	1年分198口
	8,000	2年分4口
	6,000	3年分2口
寄附	18,000	
広告費	30,000	
計	564,000	
支出の部		
総会会場費	197,000	
会報印刷費	144,341	
振替手数料	28,580	
郵送費	54,720	
打合せ費用	30,000	
払い戻し	6,000	
その他(注)	44,354	
計	504,995	
次期繰越金	544,624	
内訳	振替口座	504,947
	現金	39,677

(注)その他	
複写・用紙代	474
封筒代	26,460
振替用紙印刷代	1,100
寄附・謝礼	13,990
運搬費	2,330
計	44,354

以上、相違ありません。

観音会回卒幹事 内富幸司 

物故者御氏名

ご冥福をお祈りいたします。
平成二十六年より二十七年にご連絡いただいた方々です。
謹んでお悔やみ申し上げます。

森岡 正男 (二中14回) 平成26年3月17日逝去
末岡 恒美 (二中22回) 平成26年3月20日逝去
黒川 暢夫 (二中22回) 平成26年8月13日逝去
安藤 利次 (観音20回) 平成26年8月7日逝去
餅原 幸雄 (二中22回) 平成26年9月1日逝去
三島 達司 (二中23回) 平成26年10月30日逝去
山田 康彦 (二中22回) 平成26年12月18日逝去
矢沢 朝乃 (観音3回) 平成27年3月14日逝去
中神 義三 (二中23回) 平成27年3月23日逝去

平成26年度会費納入者

二中 東京都

回 氏名

- 12 伊藤 得平
- 17 胡子 英幸
- 17 川崎 利秋
- 20 武田 晴児
- 22 宅明 香澄
- 22 湊 徳夫
- 22 行年 恒雄
- 23 伊藤 司
- 23 平本 善一

二中 神奈川県

- 22 上杉 襄一
- 22 亀井 賢伍
- 22 松本 正
- 23 中神 義三
(物故者)

二中 千葉県

- 22 石丸 惠照
- 22 大本 竜敬

二中 埼玉県

- 20 牧尾 良典

二中 山梨県

- 22 山田 康彦
(物故者)

観音 東京都

回 氏名

- 3 矢沢 朝乃
(物故者)
- 3 榎田 辰昭
- 3 榎田 美保子
- 3 蒔田 尚昊
- 3 眼龍 朋子
- 3 山木 和雄
- 5 吉良 正志
- 6 今坂 譲
- 6 榎野 弘二
- 6 田中 千鶴子
- 6 織田 好江
- 7 牧野 俊美
- 7 斎木 勝司
- 9 百武 妙子
- 10 福尾 政道
- 11 岩崎 格
- 11 藤井 明
- 11 山岡 義典
- 11 杉中 浩一郎
- 11 中村 洋一郎
- 13 谷本 多徳
- 13 岩崎 千鶴子
- 13 土居 将憲
- 13 土屋 ソノエ
- 14 原 康
- 14 森 勝和
- 14 梶谷 久美子
- 15 新谷 恵彦
- 15 有田 進治
- 15 西山 史朗
- 16 片田 元己
- 16 野村 昌弘
- 16 今田 浩子
- 16 大城 守雄
- 16 高木 香代子
- 17 岡本 義次
- 18 長谷川 美弥子
- 18 角 隆
- 18 松本 清高
- 18 市岡 進
- 20 小豆原 博子
- 20 串山 絹恵
- 20 栗栖 正
- 20 松本 直和
- 20 中村 敏樹
- 20 山本 由美子
- 20 小林 剛
- 20 斉藤 登
- 20 森山 康三
- 20 黒田 美和子
- 20 掛水 通子
- 20 佐藤 洋子
- 21 川島 紀文
- 21 藤本 佳幸
- 21 石井 きよ子

観音 東京都

回 氏名

- 21 北沢 洋子
- 21 玉木 研二
- 23 千川 一司
- 23 齋藤 敏文
- 23 藤川 優子
- 23 岩本 宏紀
- 23 須田 尚子
- 23 荻本 和利
- 23 高幣 信彦
- 23 山本 晶三
- 23 川西 桂子
- 23 峰岸 洋子
- 23 井迫 敏郎
- 24 太田 信三
- 24 宮加谷 啓史
- 24 鳥越 正敏
- 25 吉岡 豊
- 25 江口 英則
- 30 橋本 篤範
- 30 山上 園子
- 31 三谷 啓子
- 31 牧田 由美子
- 32 大山 誠
- 35 加地 有佳
- 35 佐々木 孝治
- 35 甚田 紀子
- 35 片岡 新一

観音 埼玉県

- 6 浜田 光江
- 6 藤田 尚美
- 7 中野 春美
- 11 後藤 幸子
- 11 田中 秀穂
- 12 久保田 三紀男
- 13 杉本 俣男
- 13 佐伯 紗代
- 14 佐伯 博行
- 15 奈良原 章子
- 18 清水 純
- 18 久保田 裕二
- 18 内富 幸司
- 20 藤原 美岐子
- 20 升野 和江
- 20 倉成 由美子
- 20 猪原 陽子
- 22 福田 みどり
- 42 金丸 哲也

観音 神奈川県

回 氏名

- 2 宅明 多聞
- 3 平塚 功
- 3 堂元 一男
- 3 森政 忠雄
- 4 橋本 三千司
- 6 平田 博義
- 7 柳田 陽子
- 7 寺本 昇
- 8 宇都宮 浩三
- 8 山田 明
- 9 中原 慈枝
- 9 越間 建二
- 9 瀧山 昇
- 9 山野 真純
- 9 渡部 亮一
- 10 山根 華子
- 10 平賀 源太郎
- 11 松田 孝子
- 11 森脇 峻一郎
- 13 小林 信博
- 13 山野 日出子
- 14 中崎 舒弘
- 14 三宅 洋
- 14 古田 正雄
- 14 佐伯 陽子
- 15 小脇 敏子
- 16 沖野 正則
- 16 岡本 正行
- 17 清水 暢之
- 17 蔵岡 紀美子
- 17 早志 信治
- 18 大城 秀夫
- 19 中尾 真澄
- 19 安達 栄治郎
- 20 松原 邦雄
- 20 山田 京子
- 20 竹森 裕子
- 20 志和木 薫
- 20 羽場 博則
- 20 田中 義一
- 20 綿平 初起
- 21 土屋 茂昭
- 23 山田 弘治
- 23 樺山 都朗
- 23 玉原 利基
- 23 土屋 美恵子
- 23 富樫 美季
- 23 岩田 美根子
- 23 杉本 敦子
- 26 斉藤 充子
- 26 中村 能章
- 29 岡田 裕二
- 29 山中 淳子
- 31 亀津 雅子
- 34 織田 真枝
- 35 井野上 清

観音 千葉県

回 氏名

- 7 宮川 京子
- 9 渡辺 敏章
- 9 立川 妙子
- 9 仁賀木 寿子
- 9 丹下 容子
- 10 井上 佳子
- 10 岡寄 巖
- 10 古城 保枝
- 11 木場 照美
- 11 世良 宣義
- 12 島田 拓史
- 12 新宅 幸子
- 13 丸子 隆志
- 14 今本 智行
- 16 中村 修子
- 16 土井 泰秋
- 17 中田 君子
- 17 貞利 直子
- 18 大中 進
- 20 伊藤 清登
- 21 加藤 雅江
- 23 小川 幸枝
- 23 阪井 忠義
- 23 脇田 直
- 23 山村 慶三
- 23 薦田 浩二
- 23 新見 宏
- 23 福原 美幸
- 23 米岡 ひろみ
- 24 入矢 桂史郎
- 26 八塚 英嗣
- 29 吉井 宏之

観音 茨城県

- 9 長松 宏
- 10 坂口 典子
- 23 渡辺 和徳

観音 静岡県

- 29 伊賀崎 俊朗

以下の方に寄付を
頂きました

- 観音
2 宅明 多聞

事務局からのお願い

会報発行へご支援を

同窓会の皆様には毎年沢山の方から会費を頂き、同窓会の運営費に充ててきました。有難うございました。

昨年、同窓会の会則が改訂され、入会金と会費を納めて頂く方法を改め、会報発行の為に支援費を頂くことになりました。

就きましては、毎年会費を納めていただいていた方も、そうでない方も会報の購読料として「会報発行支援費」をお納め頂きたくお願いいたします。

本年度から振込用紙が1枚になりました。 総会・懇親会の参加、会報発行支援、寄附のそれぞれの該当する行に☑(チェック)を入れ、その合計金額を振込金額に記入してください。

会員番号は皆さまの宛名(封筒貼付)の右上の枠の中の9桁の数字をご記入ください。

なお、振り込みの際は、**手数料経費削減**の為 **ATM**での振込をお願いいたします。

事務局：瀧山 昇 / 電話：045-983-5992

編集後記

松本直和(広島観音20回)

今年も、多数の方に会報編集のご協力を頂き心よりお礼申し上げます。

今年の同窓会は去年に引き続き六本木で開催されます。多数の方のご参加を期待いたします。六本木と言え、若いころの仕事やデイスコにあの周辺をうろついた記憶がよみがえります。

さて、広島で多感な歳を過ごした私には、戦争とか核という言葉にはなんとなく敏感になってまいいます。今の安保関連法案をはじめとする戦争に近づきつつある憲法解釈の変更の議論は、日本が不戦の誓いを捨て、若い世代が70余年前と同じ様な事態に巻き込まれていくかもしれないと毎日、報道を見ながら不安をかきたてずにはいられません。内閣は米国議会で約束を重視して、法学者や大半の国民の意志に反する方向へ、与党の数の論理で進もうとするのでしょうか。

一方在京芸陽観音同窓会では、去年は会則と理事会の見直し変更がなされ、役員体制の刷新を見据えた若返りが会則に盛り込まれ、ますます同窓

会の活動が活発に、若い方の同窓会参加を期待しています。(安保法制に比べれば少々次元の低い話ですが)本

会報に新役員体制と改訂された会則を掲載していただきますのでご

読ください。この役員体制変更は、翌年三月末で終了です。これまで大なるご支援と協力を頂きまして、多数の会員各位に改めてお礼申し上げます。

以上



医療法人社団 有隣会
榎原 歯科
MAKIHARA DENTAL CLINIC

榎原歯科 新橋インプラントセンター
〒105-7090 東京都港区東新橋1-8-2 電通本社ビル
TEL 03-6215-8118 カレッタ汐留B1F-402

榎原歯科 豊洲インプラントセンター
〒135-0061 東京都江東区豊洲3-4-8スーパービバホーム豊洲2F
TEL 03-5547-8118

榎原歯科 オリナス錦糸町インプラントセンター
〒130-0012 東京都墨田区太平4-1-5オリナス錦糸町コアB1F
TEL 03-3626-8108

榎原歯科 浦和インプラントセンター
〒336-0932 埼玉県さいたま市緑区中尾851-2
TEL 048-875-4718 クイズゲート浦和1F

Thumbs up

ドレス系アクセサリブランド Thumbs up(サムズアップ)
西武池袋本店5階および西武ネットショップにて展開中



西武ネットショップ

http://edepart.7netshopping.jp/ss/brand/002215/
ZOZOマーケット https://thumbs-up.stores.jp/

ADVANCE

観音25回卒業 玉垣俊彦

感動の紙面づくりをお手伝い。

<https://www.media-you.com>

学校PTA 広報紙・同窓会報・会社広報
パンフレット・チラシ・封筒・カラー名刺の
デザイン・制作・きれいな印刷

有限会社 **メディア・ユー** 担当/浦野 政博
〒121-0813 東京都足立区竹の塚3丁目16番6号
TEL 050-3580-8178 FAX 03-5686-0232

横浜市原爆被災者の会
浜友の会 事務局長

松本 正



事務所 〒245-0053
横浜市戸塚区上矢部町 315
TEL/FAX 045-814-2914

企業、グループ、個人の広告募集中です！ 当会理事までご連絡ください。